



平成 26 年 6 月 23 日

各 位

会社名 象印マホービン株式会社
 代表者名 取締役社長 市川 典男
 (コード 7965 東証第 2 部)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 飯田 昌清
 (TEL. 06-6356-2368)

業績予想の修正ならびに固定資産の譲渡および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 26 年 4 月 1 日に開示した平成 26 年 11 月期（平成 25 年 11 月 21 日～平成 26 年 11 月 20 日）の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

また、平成 26 年 6 月 23 日開催の取締役会において、下記のとおり、固定資産を譲渡することについて決議いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 26 年 11 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 25 年 11 月 21 日～平成 26 年 5 月 20 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	41,000	2,500	2,750	1,750	25.89
今回修正予想 (B)	43,276	4,234	4,582	2,567	37.99
増減額 (B-A)	2,276	1,734	1,832	817	
増減率 (%)	5.6	69.4	66.6	46.7	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 11 月期第 2 四半期)	35,859	1,777	2,268	1,487	22.00

(2) 平成 26 年 11 月期連結業績予想数値の修正(平成 25 年 11 月 21 日～平成 26 年 11 月 20 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	71,000	3,000	3,500	2,200	32.55
今回修正予想 (B)	74,000	5,000	5,500	3,100	45.87
増減額 (B-A)	3,000	2,000	2,000	900	
増減率 (%)	4.2	66.7	57.1	40.9	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 11 月期)	66,687	1,815	2,496	1,602	23.71

(3) 修正の理由

第 2 四半期連結累計期間におきましては、国内外において炊飯ジャーやステンレスマホービンの販売が好調に推移したことや、消費増税に伴う駆け込み需要の影響による売上増加に加え、増税後の反動による影響が当初予想より少なかったことなどから、売上高は当初予想を上回りました。また、利益につきましても、売上高の増加に加え、国内における圧力 IH 炊飯ジャーなどの付加価値の高い商品の販売増加や海外売上拡大に伴う海外売上高比率の上昇により、売上総利益率が向上し、当初予想を上回りました。

その結果、第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想につきまして、売上高、営業利益、経常利

益、四半期純利益の上方修正を行うものであります。なお、四半期純利益修正値につきましては、下記「2. 固定資産の譲渡及び特別損失の計上について」に記載しています特別損失を織り込んでおります。

第3四半期以降におきましては、今後の消費増税後の反動等の影響による国内市場における需要の状況が不透明ではありますが、第2四半期連結累計期間の業績の状況をふまえ、通期の連結業績予想につきましても売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の上方修正を行うものであります。

なお、今回の業績予想で前提としております為替レートは、前回予想時と同様、1ドル=100円であります。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 固定資産の譲渡及び特別損失の計上について

平成26年6月23日開催の取締役会において、下記のとおり、固定資産を譲渡することについて決議いたしました。

(1) 譲渡の理由

グループ全体の物流体制の最適化推進に伴う拠点機能の変化への対応とより効率的な営業活動を行っていくため、名古屋支店の移転を予定しております。

移転後の経営資源の有効活用を図るため、下記固定資産を譲渡することといたしました。

(2) 譲渡資産の内容

(単位：百万円)

資産の名称及び所在地	譲渡価額	帳簿価額	譲渡損	現況
名古屋支店 (愛知県丹羽郡大口町上小口2丁目158番地) 土地3,402.20㎡、建物3,392.80㎡	287	884	607	事務所 倉庫

(注) 譲渡損は譲渡価額から帳簿価額と譲渡に係る諸経費を控除した金額を記載しております。

(3) 相手先の概要

譲渡先は一般事業者であります。譲渡先との取り決めにより、公表を控えさせていただきます。なお、譲渡先と当社との間には記載すべき資本関係、人的関係、取引関係はございません。また、関連当事者にも該当いたしません。

(4) 譲渡の日程

平成26年6月23日 取締役会決議
平成26年7月2日 契約締結(予定)
平成26年11月20日 物件引渡し(予定)

(5) 今後の見通し

当該固定資産の引渡し時点での損失発生が見込まれることから、売却予定価額を基にした回収可能価額まで帳簿価額を減額し、当該減少額を減損損失607百万円として、平成26年11月期(平成25年11月21日～平成26年11月20日)第2四半期決算において、特別損失に計上する予定であります。

以上